

渋川警察署協議会議事録

(令和7年度第4回定例会議)

開催日時		令和8年2月25日(水) 午後3時30分から午後5時15分までの間	
開催場所		渋川警察署 大会議室	
出席者	委員 (定数12人)	高橋会長 飯島委員 齋藤委員 本多委員 中澤委員 湯本委員 石関委員 俣田委員 飯塚委員 森田委員	計10人
	警察	佐藤署長 石田副署長 濱名会計官 星野警務課長 神宮留置管理課長 梶原生活安全課長 長井地域課長 藤井刑事課長 並木交通課長 松本警備課長	計10人
	その他		
議 事 の 概 要			
1 挨拶概要 (1) 会長挨拶 署長を始め渋川警察署の皆様には、昨年一年間昼夜分かたずパトロール活動や事案対応に当たっていただき、感謝申し上げます。 今年度最後の定例会議となるが、皆様の御協力により全4回、無事開催することができた。来年度も、引き続きこのメンバーで渋川警察署協議会を開催していくことになるが、今後とも、少しでも住民の安全・安心につながるような、意見、質問を積極的に出していきたい。 (2) 署長挨拶 委員の皆様には、公私ともにお忙しい中、本会議に出席していただき、また、平素から警察行政各般にわたり、御支援、御指導を賜り、感謝を申し上げます。 令和7年の当署管内の治安情勢について、治安のバロメーターと言われる刑法犯認知件数が、3年連続で増加していたところ昨年は減少したが、交通死亡事故は4件発生したほか、交通事故総量も4年連続で増加し、本年も厳しい治安対策が予想される。 今後とも、地域の皆様方との信頼関係のもと、挙署一体となって日々発生する警察事象に対し迅速・的確に対応し、「安全・安心を実感できる渋川・北群馬地区の実現」に向けて、署員一同気持ち新たに、誠心誠意山積する課題に取り組んでいく所存である。			
2 概要説明事項(説明者 署長)			
(1) 刑法犯認知状況			
(2) 重要犯罪・重要窃盗認知状況			
(3) 主な手口別発生状況			
(4) 特殊詐欺認知状況			
(5) 被害防止活動			
(6) 各市町村の犯罪発生状況			
(7) 交通事故発生状況			
(8) 交通事故抑止活動			
(9) 主な事件・検挙状況			
(10) 110番通報受理内容			
(11) 警察安全相談受理内容			

3 DVD視聴

道路交通法等改正にかかるDVDの視聴を行った。

4 意見、要望等（○～委員、●～署長等）

○ 老人の事故が多いため、例えば75歳以上の者は自動ブレーキのない車は運転できないというような限定免許にするというのはどうか。〔意見〕

● 令和4年5月に道路交通法の一部改正により、サポートカー限定免許制度が運用されているが、本人の意思に基づく申請によるものである。

委員指摘の、75歳以上の者をすべて限定免許にするには、法改正が必要となるため、県警本部に意見として上申したい。〔回答〕

○ 後付けの自動ブレーキの設置を推進して、補助金をつけてもらいたい。〔要望〕

● 自動ブレーキ等の補助金交付事業は、各自治体で行っている。

渋川市と吉岡町では、上限2万円の補助金制度があるが、榛東村には同制度がないと承知している。

警察としても各自治体に対して、高齢者の重大事故防止に極めて効果的である自動ブレーキ等の必要性を説明するなどし、渋川市と吉岡町には補助金制度の継続、榛東村に対しては、補助金制度の導入に向けた理解を求めていくとともに、広報啓発活動の推進も要請したい。〔回答〕

○ 認知機能検査を受けたが、試験内容の例題が本になって販売されており、事前に問題と回答を確認できるため、試験の意味がないのではないか。

また、実車による検査では、踏み間違え等への検査として、足の反応の検査をしたり、簡単な標識のテストをした方が良いのではないか。〔意見〕

● 認知機能検査の試験対策問題などについては、警察庁のホームページでも検査で使用するイラストパターン等が公開されていることから、委員御指摘の、足の反応検査や標識知識テストなどの導入も含め、県警本部に意見として上申したい。〔回答〕

○ 事前に写真館等で撮影した写真を免許写真として使用することはできるのか。〔質問〕

● 総合交通センターでは持込みは可能であるが、地区交通安全協会では写真の持込みを受け付けていない。〔回答〕

○ 榛東村山子田地内、高崎渋川バイパス上の渋川消防署南分署前の交差点について、地元自治会から信号機設置の要望が出されており、交通量の増加、事故防止の観点から是非設置をお願いしたい。〔要望〕

● 渋川警察署としても、同交差点における重傷事故の発生があることから、その危険性及び信号機新設の必要性を認識しており、既に警察本部交通部交通規制課に信号機設置に向けた上申をしている。〔回答〕

○ 吉岡町地内の鮮魚店南方交差点で、右折車両が滞留して危険であるため、交通量等を調査し何らかの対策ができないか。〔意見〕

● 令和8年度の現地診断において、道路管理者等を含め、交通規制係と調整して対応したい。〔回答〕

○ 有馬芦田信号機交差点で、北側から進行してくる車両の先頭が右折すると直進できず、滞留してしまうため、何か対策することはできないか。〔意見〕

● 今後、同交差点の交通量調査や規制基準なども含め、道路管理者及び交通規制課と協議していきたい。〔回答〕

○ 施設等で入居者の無断外出などがあった際、警察に捜索を依頼する場合もあると思うが、どのタイミングで依頼するのがいいのか。〔質問〕

● 施設内におらず無断外出と判明した時点で、早期の通報をお願いしたい。

また、不明者の身体特徴、不明者の服装、所持品や寝具等の体臭がするものを情報提

供していただければ、手配や発見がスムーズになるので、御協力いただきたい。

更に、平素の対応として、無断外出のおそれのある者についてはGPS機器を持たせるなどの対応、防犯カメラの動作確認、夜間の施設内施錠を併せてお願いしたい。〔回答〕

- 施設の中で暴力行為等があった場合は、警察に連絡することがあるため、その際には協力をお願いしたい。〔意見〕
- 暴力行為等のほか、入所者同士のもめごと等、警察官の援助が必要であれば通報していただきたい。〔回答〕